



わくわくkyo2ライブラリー

読書キャンペーン

2014年10月27日(月)～2015年2月28日(土)

対象：本学学生（学部生・院生・科目等履修生・研究生等）
 実施期間中、返却時に読後コメントを提出すると、
 ポイントに応じてグッズがもらえます。

詳しくは、<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/event/other-events/2014/reading-campaign.html>

いそげ、いそげ！

あと残り1ヶ月。
ラストスパートです！



ポイントのしくみ

コメント A (50 字以上) =1 ポイント
 コメント B(200 字以上)=2 ポイント
 2 ポイント：そったくんボールペン等
 5 ポイント：フリクションライト（蛍光ペン）等
 10 ポイント：大学オリジナルトートバッグ
 20 ポイント： Kultog (ディズニーデザイン) 等
 ポイントがたまるごとにグッズがもらえます。
 今、ポイントがたまっているけどグッズ交換に来ていない方は、お早めにお越しください。人気のものはなくなってしまいますよ！

わらえ！館長賞！！

コメント B の中から優秀者 2 名を選出し、
 ① 布製ブックカバー（A5）＋ペンケース
 ② USB メモリ のどちらかを贈呈します。
 ポイント獲得数とは関係ありませんので、1 件からの提出でも参加できます。

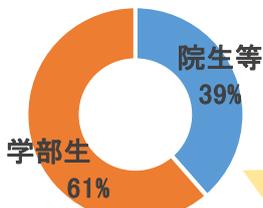
賞品の引き替えについて

場所：事務室（カウンターでは引き替えません）
 期間：2014 年 10 月 27 日～2015 年 3 月 25 日
 時間：平日（月～金） 9:00～17:00
 ※賞品は先着順とし、なくなり次第終了となります。

みんな、どんな風に参加してるの？ グラフでご紹介します！（1月22日までの提出分に基づいています）

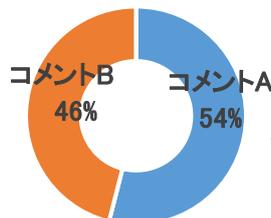
学部生と院生、どっちが多い？

※コメント提出の延べ人数です



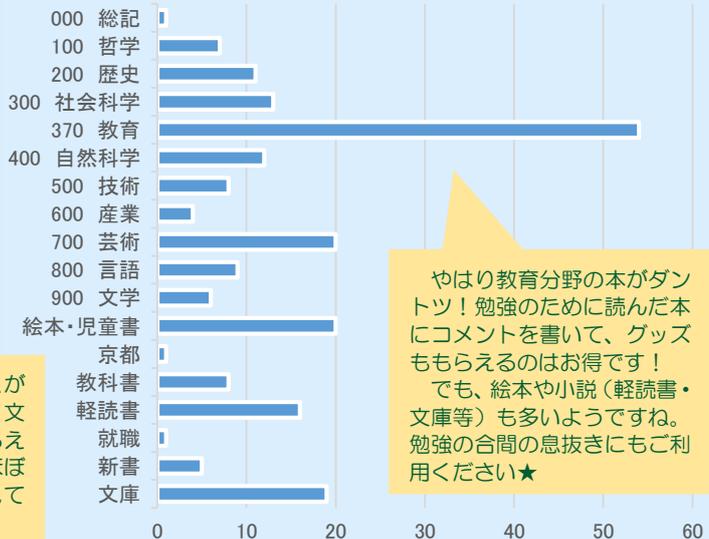
6：4で学部生が多いようですが、全体の人数割合からすると、やはり院生の参加率が高いかな？後一ヶ月、どちらもがんばって参加してください！

コメントAとコメントB、どっちが多い？



50文字のコメントAがやや多いですが、200文字のコメントBはもらえるポイントが2倍！ほぼ半々の割合で提出されていますね。

どんな本で書いてるの？



やはり教育分野の本がダントツ！勉強のために読んだ本にコメントを書いて、グッズもらえるのはお得です！でも、絵本や小説（軽読書・文庫等）も多いようです。勉強の合間の息抜きにもご利用ください★

読書キャンペーン【提出されたコメントを一部ご紹介します】

『芸術・デザインの色彩構成』

資料 ID9961035626 朝倉直巳編・著、六耀社、
開架 南館2階、757||A 85

美術分野において重要なものの一つに「色彩構成」がある。何らかのテーマに沿って、色や形の組み合わせによって、そのテーマを伝えるように表現し、かつ視覚的にも美しいものが求められる。

本書では、幾何形態を用いた平面構成で、配色によって色の見え方がどのように変わるのか、様々な作例を挙げて解説している。また、色相環など、色を科学的に見たらどのように見えるか、学問的に解説している。ここまでは平面における話だが、現実世界において色はどのような効果をもたらすのか考察している。例えば髪・肌・目の色によって引き立つ色、暗く沈んでしまう色など紹介している。また、日本の町並みと、欧州の町並みを比較し、建物に使われた色たちがどのように人物を見せるかも考察している。

本書を読み、美術を学ぶ者として、色彩が作品にどう影響するか、またその作品を社会に還元することも考えていかななくてはならないと感じた。色は無限である。無限の中から使える色・組み合わせを増やし、自分なりの新しい「色」を作っていきたいと思う。(美術領域専攻、2回生)



※『書名』著者名、出版社(シリーズ名)、
配置場所、請求記号[コメント](学科等、学年)

『化物語』

資料 ID 9131196290 西尾維新著、講談社、
軽読書 南館1階、||N 86||1

不思議なことが起こると、私たちはそれを怪奇現象と呼ぶ。幽霊、宇宙人、超能力…。日常にそぐわない、イレギュラーな存在である。だからこそ珍しがられ、恐れられる。しかしこの物語に出てくる「怪異」はまた違った存在である。日常ではありえないものでありながら、しかし日常にずっと存在している。イレギュラーでありながら、レギュラーなのである。誰でも出会う可能性があり、誰もがすでに出会っているのかもしれない。それが「怪異」なのだ。日常の不都合な出来事を、子どもたちが何でも「ようかいのせい」にしたがった今年。それは「怪異」かもしれないね、などと、私はこっそり思うのである。「怪異」とは何か。気になる方は、この物語を読んでみてほしい。活字が苦手なら、アニメから入ってもよい。クセのある作者の文体や言葉遊びを煩わしく感じないならば、きっとこの物語の世界観を楽しめることだろう。読了後、あなたの日常は少し違った色を見せるはずだ。

(家庭領域専攻、4回生)



『チョコレートの科学』 資料 ID 9924003835

蜂屋巖著、講談社、新書 南館2階、500||B||940

書名の通り、チョコレートを科学的に明らかにしていきます。科学的にとってもそんなに堅苦しい内容ではありません。普段食べているチョコレートについてよく分かる、といった感じです。自分で作ったチョコレートが変な味になった時、チョコレートを放っておくと変な味になったり白っぽくなるのが気になった時、この本を読めば答えにたどりつくことができます。その他にもチョコレートには不思議が沢山あります。普段何気なく食べているチョコレートですが、この本を読めば見方がガラッと変わるかもしれません。チョコレートのおいしさは、まさに奇跡だと感じるかもしれません。チョコレートは、実はスゴいんです。(理科教育専修、1回生)

『通常学級の特別支援』

資料 ID 9101021408
佐藤慎二著、日本文化科学社、
開架 西館2階、378||SA 85

卒業論文の先行研究として読みました。沢山の通常学級で行えるような実践例や、教材のテンプレート、特別支援教育のあり方についての一つの考えが述べられており、実際に教育現場で働く人だけでは無く、学生ボランティアに行っている人、教育実習を控えている人など、様々な人に読んでもらいたい本です。特別支援教育のことをあまり知らない人に、特に読んでもらいたいと思います。近年、通常学級においても、支援の必要な児童はたくさんいます。教師になりたいと思っている人は校種関係なく、知っておいて損はない事例がたくさん載っています。また、支援の必要な児童生徒に合わせた教材は、全ての児童生徒にとってわかりやすく、有効にはたらくものであると、私自身ボランティアに行っていて日々感じています。自分自身の教材のレパートリーを増やしたり授業内容を工夫できる1冊だと思います。

(発達障害専攻、4回生)



図書館員のつぼやき(2)「手書きの魅力」

200文字以上のコメントBの用紙は、専用のWordファイルも用意しているのですが、実は手書き提出の人が圧倒的に多いんです。先生を目指す学生さんたちは字がきれいな人が多いと普段から感じているのですが、推敲するために鉛筆で書かれた字は柔らかく、するすると頭に入ってきて心地よいものです。コメント部分はそのままコピーして館内に展示していますので、ぜひご覧ください。

えーっ、パソコンで打っていいなんて知らなかっただけだよー！という方は、もちろん今からでも書式をご利用くださいね〜。キャンペーンのホームページよりダウンロードできますよ！



『日本人はなぜ日本のことを知らないのか』

資料 ID9131043716 竹田恒泰著、PHP 研究所、
開架 西館2階、210.3||TA 59

私たち日本人は日本語を「国語」として学ぶが、日本史を「国史」としては学んでいない。日本という国の成り立ちを『古事記』や『日本書紀』から見つめ、自国についてより知ることができる一冊。(教育学研究科、M1)



『さすらいの仏教語』 資料 ID9131153891

玄侑宗久著、中央公論新社、
開架 西館2階、180.4||G 34

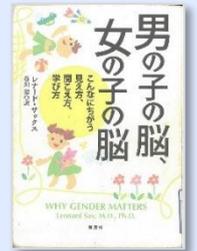
「大丈夫」「退屈」「ないしょ」など、日常でよく使われる言葉が実は仏教由来だった！ということウィットに富んだ筆致で紹介しています。長い年月が経つうちに元の意味と変わってしまい、時にはまったく反対の意味になる…という「さすらい」がおもしろいです。著者自身が僧侶だからか、しばしば専門用語が登場し難解な部分もあります。二、三度読み返して初めて納得できるというページもあるかもしれません。けれど、読み進めていくとどれか一つは「おおっ、これ、上手いなあ〜」とツボにはまる文章が見つけれられるような気がします。私のおすすめは「台無し」です。思わず、「なるほど！」と言ってしまいました。(社会領域専攻、2回生)



『男の子の脳 女の子の脳』

資料 ID9091041503
レナード・サククス著；谷川漣訳、草思社、
開架 西館2階、371.4||SA 98

将来、教員を目指す者にとって児童生徒を理解することは、大切なことです。この書籍は、子どもをさらに男の子と女の子に分けて捉えています。性別による子どもの特性を理解するためにオススメの一冊です。(教職大学院、M1)



『京都魅惑の町名』 資料 ID9091027868

高野澄著、PHP 研究所、京 都 南館2階、291.62||TA 47

京都に存在する不思議な町名について、その場所や由来が紹介されている。冒頭に京都市の地図が掲載されているので、参照しながら読むとわかりやすいと思う。ただ、京都にまだ馴染めていないとあまり想像がつかないかもしれない。紹介されている町名を学ぶ過程で、古い時代の京都での生活や町名に関連する歴史も同時に知ることができた。これまで学んできた日本史とリンクしていることも多い。京都の生活文化に興味のある人や京都にまつわることを知りたいという人にオススメの一冊だ。(社会領域専攻、1回生)

どんな本を読もう？

今館内では、こんな特設コーナーを作っています！

私のすすめるこの1冊コーナー

図書館ニュースで100回以上続く連載、「私のすすめるこの1冊」の紹介図書コーナー（北館2階ホール）を設置中です。
2月前半は、《住まい、そして街》《音楽におぼれよう》
2月後半は、《歴史をさぐる》《文学をエンジョイ》
のテーマで、毎回10冊ほど展示します。

渡り廊下のミニコーナー

1階渡り廊下では、月ごとにテーマを決めたミニコーナーを作っています。
今月は「日本を知る本」です。

特別リクエストウィークコーナー

昨年10月の特別リクエストで購入した図書を展示しています。
申込者以外でも借りられますので、ぜひどうぞ！いろいろな本がありますよ〜。
期間：1月19日(月)~2月10日(火)
場所：西館2階エレベーター前（教科書コーナー付近）



まだまだありますよ

他にも、書いてもらったコメントと本を館内展示しています。

開架図書へのコメントは、西館2階教科書コーナー付近にて展示中！



年末には、軽読書と新潮文庫へのコメントと本を展示していました。現在も、コメントボードを南館1階階段付近に設置していますので、読みに来てくださいね。



図書館からのお知らせ

春季休業に伴う長期貸出について

院生・教職員は1月14日(水)～3月13日(金)、学部生は1月28日(水)～3月27日(金)の期間に借りた図書は返却期限日が、4月11日(土)になります。
 ※卒業・修了予定者は3月10日(火)まで
 ※非常勤講師・非常勤職員は3月31日(火)まで
 ※視聴覚資料を除く

企画展示室(北館1F)について

1月28日(水)～2月2日(月)まで「附属学校・園第5回 こども美術作品展」(写真:会場の様子)を開催しました。その他にも研究生による展示、e-projectの写真作品、サークルの写真展などの利用がありました。

これからも、発表の場として
 どんどん活用してくださいね!

※興味のある方は気軽に図書館まで
 お問い合わせください
 Tel (075)644-8176
 Mail tosomu@kyokyo-u.ac.jp



卒業・修了予定の方へ

1. 貸出期間の延長

卒業・修了予定の方の貸出は2015年3月10日(火)までとなっています。それ以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きを行うことにより、2015年3月25日(水)まで延長できます。カウンターでお尋ねください。

2. 卒業後も図書館を利用される場合

卒業生利用者としてご利用いただけます。卒業後の利用案内および利用証の申請書は卒業式(修了式)で配布し、当日から利用証を発行できますので、ご希望の方はお申込みください。なお、卒業後は本学の学生と利用条件が一部異なりますのでご注意ください。

※2015年3月末に卒業・修了しない方で、貸出中の図書の返却期限日が3月10日(火)になっている方は、2015年4月11日(土)に変更されます。図書館への申出は不要です。

非常勤講師・非常勤職員の方へ

今年度より、すべての非常勤講師・非常勤職員の利用証有効期限が3月31日(火)で一旦切れますのでご注意ください。次年度も本学に在籍される方は、更新手続きについて後日ご案内いたします。

京阪奈三教育大学連携事業プロジェクト

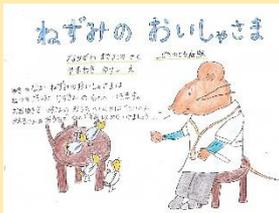
三教育大学間相互貸借の無料化サービスは2月末までです。

詳しくは
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/information/2014/ILL-free.html>

えほんのもり

今月の読み聞かせ会は、
2月16日(月) 15:00～です。

★ゆきのなか ねずみのおいしゃさまは ねつをだしたりすさんのもとへ いきます。おおゆきで りすさんのおうちへいくのは たいへん。かえるさんのおうちでひとやすみしてから いきましよう。



『ねずみのおいしゃさま』

なかがわ まさふみ さく・やまわき ゆりこ え

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

今月の
 絵本カード
 はこちら!

教育資料館 まなびの森ミュージアム

第3回
 「京都・大学ミュージアム連携」スタンプラリー
 京都の大学ミュージアムを回って知と美と素敵な景品を手にとろう!

【期間】開催中～2015年3月31日(火)迄
 「京都・大学ミュージアム連携」加盟のミュージアムで展覧会を見学し、スタンプを集めて応募しよう! 大学ミュージアムグッズまたは各大学のグッズがもらえるよ。
 ※詳しくは京都・大学ミュージアム連携 HP にて
<http://univ-museum-kyoto.com/>

開館日程

□9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2015年2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2/4-2/10 後期末試験

2/7入試(学外者の来館不可)

2/25-2/26 前期入試

2015年3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3/4 館内整理日

3/12 後期入試

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>



QRコード →

今月号は、「私のすすめるこの1冊」「論のくちび理のむすび」はお休みさせていただきます。

京教図書館 News No.173 (2015年2月号)
 発行日:平成27年2月2日
 編集発行:京都教育大学附属図書館
 問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp